

秋田港および能代港における洋上風力発電プロジェクトの
全面商業運転開始について
～国内初となる大型洋上風力発電所が全面商業運転開始～

当社は、特別目的会社「秋田洋上風力発電株式会社」（以下、「AOW」）を通じ、丸紅株式会社、株式会社大林組、コスモエコパワー株式会社、関西電力株式会社、中部電力株式会社、株式会社秋田銀行、大森建設株式会社、株式会社沢木組、協和石油株式会社、株式会社加藤建設、株式会社寒風および三共株式会社と共同で、秋田県秋田港および能代港において、日本国内初の商業ベースでの大型洋上風力発電プロジェクトを進めてきました。

今般、秋田港洋上風力発電所において、2023年1月31日に再生可能エネルギー固定価格買取制度（以下、「FIT制度」）に基づく商業運転を開始しました。

能代港洋上風力発電所については、昨年12月22日より同じくFIT制度に基づく商業運転を開始しており、現在順調に運転中となっています。今般の秋田港での運転開始により、AOWの洋上風力発電所は、全面的な商業運転に入りました。AOWでは、今後20年間にわたり、能代港を拠点とした運転保守体制の下、両発電所の運転維持管理を行っていきます。

当社は、風力発電を主軸とした再生可能エネルギー全般について、200万kWの開発を目指しており、早期に目標を達成できるよう、引き続き、再生可能エネルギー事業に積極的に取り組んでいきます。

以上

（別紙）秋田港および能代港における洋上風力発電プロジェクトの概要